

農業融資営農類型別目利き研修

研修目的・ゴール等	農業融資にかかる営農類型別の基礎知識を理解のうえ、実務知識・ノウハウを活用し、業務が実践できるようになる
想定受講対象者	信用事業部門の農業融資にかかる担当者および新任管理者
適正人数	推奨：24名（上限：36名まで）
研修日程	1日～2日（1日でも可だが、講義部分の営農類型やケーススタディを増やし、2日とする運用も可） （1日開催の場合 9：30～16：30）
研修講師	J - P A O

【研修プログラム】

	10	11	12	13	14	15	16	17				
研修内容	開講挨拶・オリエンテーション	講義 ・〇〇県の農業の概要 ・農業経営と農業金融の特徴	講義 ・農業経営体への融資提案 ・営農類型別の特徴 （詳細は下表のとおり）	（昼食）	ケーススタディ ・農家からの借入申込への対応演習 策定演習 （詳細は下表のとおり） または、経営改善資金計画書の策定演習 ・農家からの借入申込への対応演習	*適宜休憩	行動計画書の作成	まとめ・閉講挨拶				
									<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>講義</th> <th>ケーススタディ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パターン①</td> <td>1種類^{※1}</td> <td>農家からの借入申込への対応演習^{※2}</td> </tr> <tr> <td>パターン②</td> <td>1種類^{※1}</td> <td>経営改善資金計画書の策定演習^{※3}</td> </tr> <tr> <td>パターン③</td> <td>2種類^{※1}</td> <td>経営改善資金計画書の策定演習^{※3}</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 講義：「稲作」、「野菜」、「酪農」、「養豚」、「肉牛」、「果樹」から選択 ※2 農家からの借入申込への対応演習：「野菜」、「養豚」から1種類選択 ※3 経営改善資金計画書の策定演習：「稲作」、「野菜」、「肉牛」から1種類選択 ※4 講義やケーススタディの種類・数を増やしたい場合等は、J-PAOに事前相談・調整のうえ、2日間研修等を検討いただきたい ※5 講義とケーススタディにおいて選択する作目・内容については、必ず講師派遣申込書(個別申込用)に記載いただきたい</p>		講義	ケーススタディ
	講義	ケーススタディ										
パターン①	1種類 ^{※1}	農家からの借入申込への対応演習 ^{※2}										
パターン②	1種類 ^{※1}	経営改善資金計画書の策定演習 ^{※3}										
パターン③	2種類 ^{※1}	経営改善資金計画書の策定演習 ^{※3}										
時間	20	50	70	60	180		20	10				

事前課題	あり	◇「減価償却費」と「経費から差し引く果樹、牛馬等の育成費用」について調べて理解する （所定様式に記載し当日持参）
事後課題	なし	

- ★ 本研修プログラムは、研修ゴールの達成に向けて、必要と認識した時間配分例。研修の開始時刻・終了時刻は、地域の実状等に応じて、適宜変更されたい。
- ★ 研修時間を延長する場合は、事前に講師と調整のうえ、適宜講義・ワーク等の拡充を検討されたい。一方、研修時間の短縮については、研修効果が低下するため推奨しないが、事情により短縮する場合は、原則30分以内までとし、事前に講師と調整のうえ、短縮を検討されたい（不明な場合等は、NCAまでご照会願いたい）。
- ★ 1日研修として設計しているが、講義部分の営農類型やケーススタディを増やし、2日とする運用も可（地域の状況等を踏まえ、ご検討いただくことを想定）。